



参考図書：岡山くだもの紀行  
2000年発行  
発行者 山陽新聞社

## 全国一の超早出し産地

古都宿地区は、デラウェアの全国一の早出し産地として知られていた。

古都宿の田中宏美さんのぶどうの温室では、早々とデラウェアの房が無数に垂れ下がっていた。

真珠のような粒、ワインレッドの色をした小さな粒はプチプチとした舌触りで甘みが強く種もない。

温室内は11月下旬から暖房を始め、真夏でも20度以上に保つ。

天井に植物育成ランプをつるし、日照時間の不足を補って成長を促進する。また、ニンニクの粉を枝に塗り込み気を刺激する。

とにかく、どこよりも早く出すことに賭けていた。

加温栽培では、四月上旬だった初出荷が、平成11年は3月18日に平成12年は3月26日になった。

露地物より4か月早く、他県のライバル加温物より半月ほどリードしていた。

平成11年の早出しデラウェアの平均単価（3月）は1キロ当たり約5,800円。露地物の十倍だった。

田中角栄さんのお見舞い品にも使われたことがある。

時期が珍しいうえ甘みも十分乗っており、県内や京阪神のデパートなどで重宝されていた。